

ジャパンファウンデーション
日本研究・知的交流部 アジア・大洋州課より
**「日中韓次世代
リーダーフォーラム」
を実施しています**

ジャパンファウンデーションは2002年より、韓国・中国の機関と共同で「日中韓次世代リーダーフォーラム」（英名称：Future Leaders Forum）を実施しています。

このフォーラムは、信頼関係がまだ十分とはいえない日本・韓国・中国の関係を発展させ、将来にわたって安定した関係を維持できるように、各国の政界、官界、財界、学界、メディア界等の若手リーダー間に人的なネットワークをつくることを目的としています。

したがって、このフォーラムでは、各国それぞれ5名程度の参加者が10日ほどの期間内に日本・韓国・中国をいっしょに訪問し、時間・空間を共有することを特徴としています。フォーラム期間中に参加者は、昼はディスカッションや各国有識者との意見交換などを行ない、夜はお酒やカラオケなど個人的な親睦を深めることを通じて、テーマである北東アジア共同体構築に向けて、まずは若手リーダー間の相互理解と問題意識の共有を促し、信頼関係を醸成します。

これまで、毎回メンバーを替えて3回、フォーラムを実施しましたが、参加者間の信頼関係醸成という意味では、顕著な成果が現れています。参加者のなかにはこのフォーラムを通して、北東アジアの安定をライフワークとするに至った政治家や、この地域の連携は無理だという考えを翻した研究者がいます。

3回目となった2005年のフォーラムにおいても、特に小泉首相の靖国神社参拝問題が話題となり、議論が白熱しましたが、各参加者が個人としての意見を腹藏なく表現し合い、それを尊重しあう雰囲気生まれ、最終的にはむしろ、参加者間の強い信頼関係を築くことができました。

このフォーラムを今後も長期間続けていくことで、このような絆が面となって広がっていくことを目指しています。

**日中の学生による
動画配信ウェブ
「東京視点」**

ジャパンファウンデーションは2004年より、中国から日本に来ている留学生と、日本人学生が中心となって、彼らにとって身近な話題をビデオで撮影、編集し、ウェブ上で配信する「東京視点」という活動を支援しています。

日本と中国のマージャン文化の違いや、日本で活躍している中国人音楽家の生活、中国人留学生と日本人のおばあさんの交流など、マスメディアとは違う「個人の視点」で等身大の日本の姿をビデオ撮影し、自ら編集して、すでに100本以上の作品を発信しています。

サイトへのアクセス数は次第に増えてきています。作品は必ず日本語版と中国語版が作成され、身近な出来事を見過ごしがちな日本人にとっても、興味深い作品が多く含まれています。

「東京視点」のもう一つの魅力は、一つの作品を日中合作で作りあげる過程自体が交流活動となっていることです。それぞれの個性を尊重しながら、またあるときには意見を戦わせながら、伝えたいことを表現していく作業によって、メンバー間は特別な絆で結ばれていきます。

日中間の交流は盛んになってきていますが、お互いの理解はまだまだ不十分です。「東京視点」は、インターネットの登場により、普通の市民が簡単に情報の送り手になれるようになったことをうまく利用し、日本理解の有効なツールとして、また日中の若者交流の場として、発展してきました。今後は、身近な中国を伝える「北京視点」の開設も計画されています。彼らの今後のさらなる活躍を期待します。

「東京視点」サイトURL <http://www.people.ne.jp/video/> (日本語)

<http://japan.people.ne.jp/video/> (中国語)